

未来の学び舎だより

TANAGURA MIRAI NO MANABIYA NEWS 【発行】 棚倉町教育委員会 TEL 0247-33-7881

2026.10

令和8年
10月

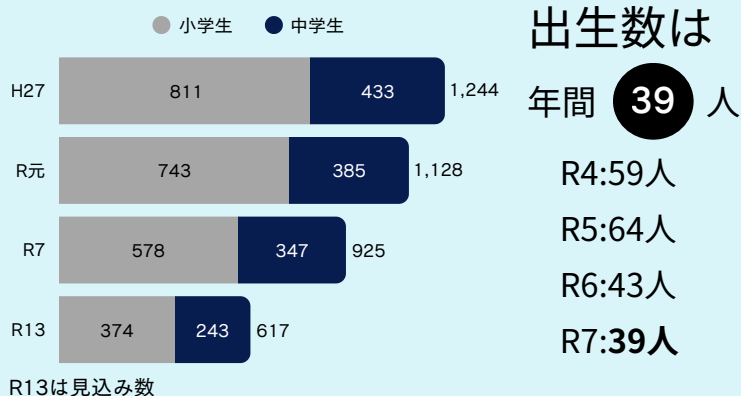
VOL.01

創刊号

令和7年度から本格的に始まった棚倉町の学校統合に向けた準備。こどもたちと地域の未来のために、これからの学校の姿を考えています。「未来の学び舎だより」では、準備の進捗状況をお知らせします。

学校統合が必要な2つの課題

課題1 児童生徒数の減少



課題2 教育施設の老朽化

学校名	建築年	築年数
棚倉小学校	昭和41年	築60年
社川小学校	平成9年	築29年
近津小学校	昭和39年	築62年
棚倉中学校	昭和47年	築54年

平均築年数は **51** 年

これまでの検討のあゆみ

令和4年度

「棚倉町小・中学校学びのあり方検討委員会」意見書

【意見書の主な内容】

同年度の出生者が70人を下回ることが続く見込みであることや複数の学校で複式学級が見込まれる場合には学校統合や義務教育学校を検討する。

令和6年度

令和4年度、令和5年度の出生者数が70人を下回る

令和4年度と令和5年度の2カ年の出生者数から、教育委員会は統合に向けた検討が必要であると判断し、検討委員会の設立準備等を進める。

令和7年度

準備委員会の設立、住民意見交換会の開催

- ・住民意見交換会の開催（5回開催、参加者71名）
- ・町立学校統合準備庁内検討委員会設置、開催（4回開催）
- ・町立学校統合準備委員会設置、開催（4回開催）

高野地区住民意見交換会



今後も検討
状況をお伝
えます

令和7年7月に開催した住民意見交換会では、保護者のみなさまや地域のみなさまからたくさんのご意見やご質問をいただき、ありがとうございました。

いただいた声を参考に学校統合に向けた検討を進め、その状況を「未来の学び舎だより」や町ホームページ等で随時お伝えします。

令和7年度に決定した
学校統合の方向性

現在ある町立学校を1つに統合して、新しい校舎の「施設一体型 義務教育学校」の令和14年度開校を目指す
※施設一体型義務教育学校…小学校と中学校の9年間の義務教育を一つの校舎で行う学校

令和8年度の

主なうごき

一歩ずつ進んでいます。

令和8年度は、施設一体型義務教育学校の整備に向けた敷地の選定や、「基本構想・基本計画」の策定など、具体的な検討を進めています。

基本構想・基本計画の策定

目指すべき学校建設のコンセプトや整備方針を定める「基本構想」と、施設計画等に関する基本的な考え方を整理する「基本計画」の策定を進めています。

基本構想・基本計画の策定を専門家がサポート

基本構想・基本計画の策定にあたり、調査を行い、各種検討に専門的知見を取り入れるため、策定支援業務を委託しました。

【受託事業者】

株式会社教育施設研究所 東北事務所

候補地の比較・検討

義務教育学校の整備候補地について、さまざまな視点から検討を進めています。

【4つの候補地】

棚倉高校跡地、ルネサンス棚倉敷地、
棚倉中学校敷地、町内の平坦な土地

各委員会を開催しました

8月に今年度1回目となる、町立学校統合準備庁内検討委員会と町立学校統合準備委員会を開催しました。

令和8年度は各委員会を年4回程度開催する予定です。

令和8年度統合準備委員会の委員紹介

(敬称略・順不同)

▶地域住民代表者（学校運営協議会等）

橋本 義治、山口 昂太郎、石井 由美子、塩田 綾子、吉田 一榮

▶保護者代表（PTA）

和田 浩志、宮澤 幸子、曾我 雅吉、藤田 辰之進、高田 雅士、石橋 大輝、梶 孝行、北郷 大志

▶学校・幼稚園代表者（校長・幼稚園長）

齋藤 雅彦、菊池 呂之（副委員長）、深谷 麻紀、鈴木 信司、西牧 武美、金澤 禎子、鈴木 雅人

▶学校教育有識者

石井 二郎、緑川 喜秋、八槻 浩子、吉田 絵里子、益子 秀一（委員長）

統合準備委員会



NEXT ISSUE
次号予告



次号では、4つの候補地の比較・検討状況や第2回統合準備委員会の様子などをお伝えします。



義務教育学校関連
の情報はこちら
町ホームページ

